

(様式1)

# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 1学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

用具に関する知識を学ぶ：絵の具(アクリルガッシュ)の使い方、絵筆(平・丸・面相)の使い方、塗り方。  
色彩に関する基礎知識を学ぶ：色の3要素(属性)、色温度、色相、混色とグラデーション(階調)。  
モダンテクニック(絵画技法)の習得：マーブリング、スパッタリング、ハッチング、デカルコマニー、スタンプング、フロッタージュ、コラージュ、ドリッピング、スクラッチなど。  
レタリングの基礎知識と技法の習得：書体の違いとかき分け、レタリング技法のルールと、その習得・応用。  
オリジナル牛乳パック制作：色彩、モダンテクニック、レタリングの集大成としてオリジナルの牛乳パックを制作する。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか(歴史)

### 【思考・判断・表現】

- ・掲示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かしたり、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出  
作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題(ねらい)を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を(より)よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。  
鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して(出そうとして)いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業(作品制作)中の発言・行動・集中力、作品の質(制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ緻密さ)。  
鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してからはじめる。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、参考に出る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。自分の世界を豊かに表現するため、普段から身近なものや風景の色合いやデザインに目を向け、気に入ったものや思いついたものをメモしておくことで表現の幅や引き出しが増え、役に立つ時が来るでしょう。

(様式2)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
4 月	6	<p>用具に関する知識と理解・技術の習得(2)</p> <p>色彩とは何か(3)</p> <p>作品の相互鑑賞と評価(1)</p>	<p>絵の具(アクリルガッシュ)の知識を学び、その使い方を習得する。</p> <p>色彩に関する基礎知識を学ぶ。</p> <p>色彩・混色・グラデーションの鑑賞・評価。</p>	<p>絵筆(平・丸・面相)の使い方、絵の具の適切な濃度と必要量、画面への塗り方、ムラをなくす方法等技法の習得。</p> <p>色の3要素(属性)、色温度、色相、混色とグラデーション(階調)等の知識・理解。</p> <p>他者の作品や自己作品についての正しい作品鑑賞と評価・鑑賞方法について理解する。</p>	<p>出来上がった色彩知識作品等の反省、鑑賞と自己評価、家人の感想を聞く。</p> <p>色彩・混色・グラデーションの感想と反省点等を考える</p>
5 月	8	<p>モダンテクニック(2)</p> <p>作品の相互鑑賞と評価(1)</p> <p>レタリング基礎知識(5)</p>	<p>モダンテクニック(近代絵画技法)を実践・体験すると共に技法を習得する。</p> <p>モダンテクニックの鑑賞と評価。</p> <p>レタリングの基礎知識を学び、技法を習得する。</p>	<p>マーブリング、スパッタリング、ハッチング、デカルコマニー、スタンピング、フロッタージュ、カラージュ、ドリッピング、スクラッチなどの技法習得。</p> <p>他者の作品や自己作品についての正しい作品鑑賞と評価・鑑賞方法について理解する。</p> <p>2大書体(明朝体とゴシック体)の違い・ルールを学び、書き分けるレタリング技法の習得とその応用。</p>	<p>プリントなどで用語について予習</p> <p>出来上がった作品の反省、鑑賞と自己評価、家人の感想を聞く。</p> <p>モダンテクニック作品の感想と反省点等を考える。</p>
6 月	8	<p>オリジナルパッケージデザインをしよう(8)</p>	<p>モダンテクニック、レタリングの技法を使い自分なりのデザインを制作する。必要ならトレーシングペーパーを使用する。</p>	<p>自分なりにテーマを決めデザインを決定する。デザイン力。</p> <p>消費者を意識した完成度の高い作品にするために、成分表示など細かいところまで想像を膨らませ制作する。想像力。</p>	
7 月	4	<p>オリジナルパッケージデザインをしよう(3)</p> <p>作品の相互鑑賞と評価(1)</p>	<p>作品の鑑賞と評価。</p> <p>お互いの作品を鑑賞し、良さを見つけ合い次回の作品制作にいかす。</p>	<p>他者の作品や自己作品についての正しい作品鑑賞と評価・鑑賞方法について理解する。</p>	<p>自分の作品の感想と反省点等を考える。</p>

(様式1)

# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 2学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

「オリジナル和菓子をつくろう!」:日本の和菓子という伝統美について学び、樹脂粘土で季節感を感じさせる和菓子を制作する。季節感の表現方法を工夫し、樹脂粘土でどのように表現するか考え制作する。和菓子は2種類制作し、そのチラシも制作する。オリジナルの和菓子を制作することを通し消費者を意識したデザインを考え、かつその中で伝統的な日本の美について考える。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか(歴史)

### 【思考・判断・表現】

- ・掲示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かしたり、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出  
作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題(ねらい)を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を(より)よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。  
鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して(出そうとして)いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業(作品制作)中の発言・行動・集中力、作品の質(制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ緻密さ)。  
鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してからはじめる。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、テーマや用途・大きさは違うが、参考に出来る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。2学期の授業では日本ならではの四季がテーマの和菓子を制作します。作品に取り入れられそうな植物、色合い、形などはないか、普段から美術的な見方を大切に生活してください。

(様式3)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
9 月	4	樹脂粘土で作る和菓子 (4)	日本の和菓子という伝統美について考え、樹脂粘土で季節感を感じさせる和菓子を制作する。  季節感の表現方法を工夫し、樹脂粘土でどのように表現するか。	伝統食の芸術たる和菓子に対する理解を深める。  季節感を和菓子という題材で表す発想・表現力。  樹脂粘土を発想のままに形作る造形力。	プリントなどで和菓子について予習作品作りに役立つアイデアをネット検索や実際の和菓子店廻り広告などで季節感をどのように表現するかアイデアを練っておく。
10 月	4	樹脂粘土で作る和菓子 (4)	季節感の表現方法を工夫し、樹脂粘土でどのように表現しおいしそうに作るか。	食品である和菓子という題材で一番大事なおいしそうに見える造形物を作る力。  季節感を表す樹脂粘土を発想のままに形作る造形力。	作品をどう作るか、手順や色、季節感の表現に使える小物を揃え、作る準備。
11 月	4	樹脂粘土で作る和菓子 作り(4)	作った和菓子のA4広告チラシを作る。	作品(和菓子)のアピールポイントの発表準備をすることで、自己評価力・アピール&客とのコミュニケーション能力を養う。	出来上がった作品の良いところ・おいしいところを説明し、買ってもらえる広告を考えておく。
12 月	2	作品の相互鑑賞と評価 (2)	季節感を表現して作った和菓子と、その広告のプレゼンテーションをし、鑑賞をする。	造形力・表現力・広告力作品に込めた想いを込めてプレゼンテーションを行う力を養う。鑑賞・評価する(自己・他者共に)能力。	樹脂粘土で作る和菓子作品の感想と反省点等を考える。

(様式1)

# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 3学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

スクラッチ技法でデッサンの基礎を学ぶ(スクラッチで描く動物写真): 写真をよく観察して線の方向・長さ・太さ・量(密度)・形状で、明暗や質感・形を表現し、動物写真をスクラッチ版に再現する。スクラッチの技法を学び、ニードルの使い方を習得する。また、写真を模写することによってデッサンの基礎力向上を目指す。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか(歴史)

### 【思考・判断・表現】

- ・掲示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かし、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出  
作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題(ねらい)を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を(より)よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。  
鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して(出そうとして)いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業(作品制作)中の発言・行動・集中力、作品の質(制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ緻密さ)。  
鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してから始める。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、テーマや用途・大きさは違いますが、参考に出来る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。3学期のスクラッチ絵画では手本をよく観察し、比率や明暗の差を見つけ出し表します。自分の世界の表現が苦手な人もコツを掴めば素晴らしい作品に仕上げられるので、よく集中して楽しく制作しましょう。

(様式4)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
1 月	4	スクラッチで描く動物 写真(4)	用意された動物写真や、ペットの写真を基にスクラッチ技法:あらかじめ塗ってある黒い塗装をニードル・針で引っ掻きはがす線でデッサン(ものの形、明暗、質感を観察して再現する)の基礎を学ぶ。	選んだ動物写真をカーボン紙の上に敷いてスクラッチ用紙にずれないようにセロテープで留め、写真の上から輪郭線や目鼻耳などの構成を大まかな線を強くなぞって用紙上に写して大まかな構成を再現する力。	モノクロ B5 であらかじめ用意された中からランダムに動物写真を選び題材とする。 飼っているペットの写真でも毛並みや細部、全体のピントがはっきりしている写真なら可。
2 月	4	スクラッチで描く動物 写真(4)	写真材料と下書きの線を目安にスクラッチ技法:あらかじめ塗ってある黒い塗装をニードル・針で引っ掻きはがした線で、動物の形、毛並み、その明暗、質感を再現し、デッサンの基礎を学ぶ。	動物の写真をよく観察して、白カーボン用紙でスクラッチ版に描かれた下書きを目安に、写真通りの線、毛並みの方向・長さ・太さ・量・密度・形状で、明暗や質感・形を表現し動物写真を再現する力。	写真の内容、その動物の特集、毛並みの方向・密度・長さ、明暗などの情報をしっかり抑えておき、再現する。
3 月	2	スクラッチで描く動物 写真(1)  作品の相互鑑賞と評価 (1)	スクラッチ技法:あらかじめ塗ってある黒い塗装をニードル・針で引っ掻きはがす線でデッサン(ものの形、明暗、質感を観察して再現する)の基礎を学ぶ。  スクラッチで描く動物写真の評価と鑑賞。	写真をよく観察し、別の紙に(描く線の方向・長さ・太さ・量・密度・形状で、明暗や質感・形を表現し動物写真をスクラッチ技法で)再現する力。  観察力・再現力・忍耐力を、鑑賞評価する能力。	スクラッチ版に再現するためによく観察し、その結果を忍耐強く、授業予定時間内に完成できるスピードが必要。  スクラッチ作品の感想と反省点等を考える。

(様式1)

# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 1学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

**感じる漢字:** デザイン絵画。漢字の一部をイラストで置き換えたり誇張したり背景をつけて、よりその漢字の印象が際立つ表現を工夫する。レタリング技術と漢字の選定。

**水墨画の制作:** 日本の伝統的な絵画芸術に触れ、表現方法などを学び、模倣し、半紙に再構成することでその美や良さを理解し味わうことで日本文化の一端を知る。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか(歴史)

### 【思考・判断・表現】

- ・掲示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かしたり、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出  
作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題(ねらい)を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を(より)よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。  
鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して(出そうとして)いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業(作品制作)中の発言・行動・集中力、作品の質(制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ緻密さ)。  
鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してから始める。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、テーマや用途・大きさは違うが、参考に出来る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。2学年からは自分の世界の表現だけではなく、伝統や文化に触れながら制作に取り組んでいきます。普段から身近なものや風景に目を向け、気に入ったものや思いついたものをメモしておく、表現の幅や引き出しが増え、役に立つ時が来るでしょう。

## (様式2)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
4 月	3	感じる漢字・制作(3)	<p>デザイン絵画。漢字の一部をイラストで置き換えたり、誇張したり、効果的な背景をつけて、よりその漢字の印象が際立つ表現を工夫する。</p> <p>レタリングのルールや決まりを守った技術と題材にする漢字の選定は、どこをどう置き換えるかのアイデア勝負。二字熟語まで許可する。</p> <p>漢字の描かれた下書き用紙を黒カーボン紙の上に置き、まとめて画用紙上に載せ、ずれないようにセロテープで留め、下書きの上から輪郭線や背景など構成する線を強くなぞって転写する。</p>	<p>選んだ漢字の一部をイラストで入れ替える、漢字の主部や、一部分をイラスト化する・変形させるなどして存在感のある漢字をレタリングする力。</p> <p>イラストボード上に美しく丁寧に表現するデザイン力・発想力・表現力。</p>	漢字のイメージを増幅するイラストや背景表現などのアイデア情報をネットなどの検索でしっかり抑えておき、利用する。
5 月	4	感じる漢字・制作(3)  感じる漢字鑑賞(1)	<p>写した下書きの線を目安に絵の具(アクリルガッシュ)で着色してアイデアを再現・具現化して、漢字を表現する。直接紙に下書きを書いても良い。</p> <p>感じる漢字作品の評価と鑑賞。</p>	<p>漢字のイメージを増幅するような背景表現を考え、制作する。</p> <p>細部まで丁寧にレタリングのルールに沿って制作する。忍耐力。</p> <p>感じる漢字作品に込めた想いを鑑賞・評価する(自己・他者共に)能力</p>	<p>制作時間の割り振りを考え必要なら持ち帰る、放課後に制作するなどして提出期限までに完成させる。</p> <p>感じる漢字作品の感想と反省点等を考える。</p>
6 月	4	水墨画・制作(4)	<p>日本の伝統絵画である、襖(ふすま)絵、天井板絵、屏風絵、掛け軸などの作品を鑑賞し作画に対する知識を調べて学び、その表現方法を模倣することでその良さ美しさに対する理解を促す。</p> <p>自然物を描くことで墨の濃淡の使い分け、墨を重ねて描くことでの効果を理解し、身に付ける。</p>	<p>作品集から資料を読み、襖(ふすま)絵、天井板絵、屏風絵、掛け軸などの作品を鑑賞し、理解を深める。</p> <p>墨を重ねて描くことでの効果を理解し身に付ける。</p>	当校及び市内図書館、他校の資料を含め参考写真集・文献・教科書等の資料から該当する作品を選定し、その出典(出版社・題名・作者名・掲載ページ数・場所)を明記しておく。
7 月	2	水墨画・鑑賞(1)	水墨画の評価と鑑賞。	作品に込めた想いを鑑賞・評価する(自己・他者共に)能力。	作品の感想と反省点等を考える。



(様式1)

# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 2学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

**木版画の制作：**さまざまな版画表現を理解し、版に表すことの良さや効果を学び『動物の魅力を表す』ために自分が動物から感じた良さが他者に伝わるよう、特徴を写実的に表したり形を省略・強調したりすることで、表現方法を工夫する。背景は動物の魅力をより引き出せるように、模様の種類や色の組み合わせを考え、正方形の版木を用いた回転版画で表現する。作品は回転版画の版の上に動物の版を刷り重ねて完成させる。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか（歴史）

### 【思考・判断・表現】

- ・掲示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かしたり、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出  
作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題（ねらい）を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を（より）よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。  
鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して（出そうとして）いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業（作品制作）中の発言・行動・集中力、作品の質（制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ・緻密さ）。  
鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してからはじめる。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、テーマや用途・大きさは違うが、参考に出来る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。2学期では木版画の技法を学び、動物の魅力と重なり合う色と模様が面白い作品を制作します。久しぶりに彫刻刀を扱うので安全に十分注意し、作品が刷り上がった時の感動を楽しめるように取り組みましょう。

(様式3)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
9月	4	木版画制作(4)	動物をテーマに木版画を制作する。版木は正方形のものを扱い、表面に動物の版、裏面に背景の版を制作する。 自分の好きな動物を選択し、下絵の制作を行う。下絵はトレーシングペーパーに描写し、資料の模倣だけではなく、動物の魅力を表現するためにデフォルメさせても構わない。 背景の面は自分が選んだ動物の魅力をより引き立たせるために、模様や図形、モチーフを考えさせる。その際、版画の特性について解説し、版の仕組みについて理解を促す。	動物の資料をもとに、場面や動物の魅力を引き立たせる下絵を制作するための想像力・表現力。  動物の魅力をより引き出す背景表現を考え、制作する力。	
10月	4	木版画制作(4)	版木の表面の上にカーボン紙と下絵を載せ、ずれないようにセロテープで留め、下絵の上から輪郭線や背景など構成する線を強くなぞって転写する。 版木の裏面に直接背景の絵を描写する。 版木の描写が終わったら、彫刻表現方法を陽刻と陰刻から選び、彫刻刀で版木を彫り進めていく。	版画を刷るときに、彫った場所に色が付かなくなる凸版画の特徴をよく理解し、制作に取り組む。	
11月	4	木版画制作(2)  木版画鑑賞(2)	用紙を事前に湿しておく。版木の裏面(背景)にローラーで絵具を置き、見当の上に版木と用紙を合わせ、当て紙を被せたあとずれないようにばれんで丁寧に刷る。 背景の面を最大4回まで刷る。  版木の表面(動物)にローラーで黒絵具を置き、背景と同じ手順で刷る。  木版画の評価と鑑賞。	木版画を刷るときにの技法。重色したときの色の現れ方をよく理解し、制作に取り組む。	制作時間の割り振りを考え必要なら持ち帰る、放課後に制作するなどして提出期限までに完成させる。 感じる漢字作品の感想と反省点等を考える。
12月	2	金屏風製作(2)	日本の伝統絵画である、襖(ふすま)絵、天井板絵、屏風絵、掛け軸、浮世絵などの作品を鑑賞し作画に対する知識を調べて学び、その表現方法を模倣することでその良さ美しさに対する理解を促す。 教材の小型屏風に金箔を模したシートを貼り付け、金屏風のミニチュアを要求時間内で制作する。	道具が適切に扱われている日本の伝統絵画である、襖(ふすま)絵、天井板絵、屏風絵、掛け軸、浮世絵などの作品を鑑賞し作画に対する知識を調べて学び、その表現方法を模倣することでその良さ美しさに対する理解を促す。	当校及び市内図書館、他校の資料を含め参考写真集・文献・教科書等の資料から該当する作品を選定し、その出典(出版社・題名・作者名・掲載ページ数・場所)を明記しておく。 金屏風の黒い縁飾りと、金の角装飾などは絵が出来てから張ること。

# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 3学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

**金屏風の制作：**金箔を貼り屏風絵を描く。日本の伝統的な絵画芸術に触れ、表現方法などを模倣し、金屏風上に再構成することでその美や良さを理解し味わうことで日本文化の一端を知る。

**仏像スライドの制作：**仏像の魅力を表現したスライドを作る。仏像の特徴や視覚的に美しいと感じさせるデザインを理解し、表現方法などを模倣しスライドの画面構成をすることで、仏像の美や良さを理解し味わうことで美術文化への関心を高める。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか（歴史）

### 【思考・判断・表現】

- ・掲示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かしたり、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出  
作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題（ねらい）を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を（より）よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。

鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して（出そうとして）いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業（作品制作）中の発言・行動・集中力、作品の質（制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ・緻密さ）

鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してから始める。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、テーマや用途・大きさは違うが、参考に出来る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。3学期では金屏風制作のもと日本画独特の表現技法に触れ、絵の具を使った制作に取り組みます。また来年度の修学旅行に向けて仏像の鑑賞を行います。様々な種類の仏像の面白さや意味を理解することで、寺社巡りがより楽しく学びの深い活動になります。

(様式4)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
1 月	3	金屏風製作(3)	日本の伝統絵画である、襖(ふすま)絵、天井板絵、屏風絵、掛け軸、浮世絵などの作品を鑑賞し作画に対する知識を調べて学び、その表現方法を模倣することでその良さ美しさに対する理解を促す。 教材の小型屏風に金箔を模したシートを貼り付け、金屏風のミニチュアを要求時間内で制作する。	道具が適切に扱われている 日本の伝統絵画である、襖(ふすま)絵、天井板絵、屏風絵、掛け軸、浮世絵などの作品を鑑賞し作画に対する知識を調べて学び、その表現方法を模倣することでその良さ美しさに対する理解を促す。	当校及び市内図書館、他校の資料を含め参考写真集・文献・教科書等の資料から該当する作品を選定し、その出典(出版社・題名・作者名・掲載ページ数・場所)を明記しておく。 金屏風の黒い縁飾りと、金の角装飾などは絵が出来てから張ること。
2 月	3	金屏風製作(2) 金屏風・鑑賞(1)	代表的な作品の中から、それぞれ『動物』・『植物』・『風景』・『人型(神・妖怪含む)』 廻4つの要素から自分なりに構成し、3点を選んで新たな絵として下書き用紙上に再構成する。 この際、日本芸術の技法である省略と見立て等を用いて金色の背景であることを生かした構成をする。 下書き用紙を金屏風上に載せ固定して下書きの輪郭をなぞり、筆痕を金屏風上に転写。付いた筆痕を目安に着色し、細部まで仕上げてゆく。  金屏風の評価と鑑賞。	金屏風作品に込めた想いを鑑賞・評価する(自己・他者共に)能力。	制作した金屏風作品の感想と反省点等を考える。
3 月	3	仏像・鑑賞(3)	京都・奈良の仏閣や寺院に所蔵されている仏像の中から1点選択し、その仏像の紹介スライドを制作する。 スライドは全2ページとし「仏像の特徴や魅力の紹介」「所蔵場所の紹介・使用した資料の引用元を明記」をする。 スライドの背景やフォントの種類・大きさ・色と、写真と文章の大きさ・配置を工夫して、視覚的に美しいと感じるデザインを制作する。 仏像の紹介をするときに、図書やインターネットから調べた内容を整理し、気づいた仏像の造形的な良さや面白さを文章で表現する。	第三学年に行われる修学旅行に向け、飛鳥時代から続く仏像の造形や文化に興味を持ち、美術文化への関心と知識を深める。 スライドの画面構成において、見やすさと視覚的な美しさを両立させたデザインの特性を理解・表現する。	スライドのアイデア情報や仏像の種類や名前・所蔵寺院について、ネットで調べ要点を抑え、決定しておく。  参考にした資料が図書の場合は出典(出版社・題名・作者名・掲載ページ数・場所)、ネットから資料を参考にした場合は(URL・サイト名)をスライドの2ページ目に明記する。

(様式1)

# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 1学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

### 「10年後の未来の自分の部屋を設計しよう」

・様々な遠近法を使用した画家や作品を学び、一点透視図法の基礎を学ぶ。一点透視技法を理解した上で制作に生かす。制作のテーマは10年後の自分の部屋なので、自分が就いているであろう職業、夢、生活環境を考え、部屋をデザインする。自分で未来にあるであろうものを考え描き込んで良い。学習した技法の良さを生かし条件に合った作品を考え下絵を描く。様々なクラスメイトの作品を鑑賞することでお互いの良さを知り、また良いところを吸収してほしい。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか(歴史)

### 【思考・判断・表現】

- ・掲示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かしたり、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出  
作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題(ねらい)を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を(より)よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。  
鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して(出そうとして)いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業(作品制作)中の発言・行動・集中力、作品の質(制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ緻密さ)。  
鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してからはじめる。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、テーマや用途・大きさは違うが、参考に出来る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。普段から身近なものや風景に目を向け、気に入ったものや思いついたものをメモしておく、表現の幅や引き出しが増え、役に立つ時が来ます。また、3学年での美術では今までの集大成として学んだ技法を多く発揮し、楽しい授業になるようルールを守って取り組みましょう。

(様式2)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
4 月	2	オリエンテーション(1)  バロックを学ぼう(1)	バロック時代の絵画を学ぶ。光と影の世界を知り、自分の制作に役立てる。	バロックの絵画を学び、絵の見せ方、その時代の美術を学ぶ。	
5 月	3	手のデッサン(1)  「10年後の未来の自分の部屋を設計しよう」(2)	手のクロッキーを通しデッサン力を身に付ける。 ら鉛筆で表現する。  遠近法、一点透視図法を使用した作家の作品を学ぶ。 一点透視図法の説明を学ぶ。 一点透視図法を使用し、エスキースを仕上げる。チェックを受けた人から本番用紙にはいる。 本番用紙に丁寧に色を塗る。	デッサンの基礎力を身に付ける。光と影の境目を見つけられるよう鍛錬する。自分の骨格を把握し立体におこす力を身に付けてもらいたい。 鉛筆、テッシュなどのデッサン用具の使い方を学ぶ。  レオナルド・ダ・ヴィンチや土田麦など遠近法を使用した作品を描いた作家を学ぶ。  一点透視図法の制作意図を理解する。想像力を膨らませ自分の未来の生活環境に必要であろうものを考え表現する。	自分の骨格を把握するために自分の手をよく見る。 デッサンの目を鍛えるために自宅でも自分の手をよく観察する。  10年後自分が何の職業についているかどんな生活状況か考え身の周りのインテリアを想像する。
6 月	4	「10年後の未来の自分の部屋を設計しよう」(4)	一点透視図法を使用し、本番用紙に入る。 本番用紙に丁寧に色を塗る作品を仕上げる。	制作意図を理解し、的確な作図を制作する表現力・理解力等	
7 月	2	「10年後の未来の自分の部屋を設計しよう」(1)  鑑賞(1)	「10年後の未来の自分の部屋を設計しよう」の鑑賞を通しお互いの良さを認め合う。  鑑賞を通しお互いの良さを認め合う。	作品に込めた想いを鑑賞・評価する(自己・他者共に)能力。  作品に込めた想いを鑑賞・評価する(自己・他者共に)能力。	作品の感想と反省点等を考える。

# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 2学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

**木彫時計（卒業制作）** 木彫の技法や加工を学び、身の回りにある手作りの製品を鑑賞し、理解して制作に生かす。卒業制作として、3年間で培ってきた表現技法や自分らしいデザインなどの視点から発想し、生活を豊かにするものを制作する。

### 作品の鑑賞

様々な表現方法があることを知り、自らの表現に生かし、他者や自分の良いところを発見する。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか（歴史）

### 【思考・判断・表現】

- ・掲示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かしたり、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出  
作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題（ねらい）を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を（より）よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。  
鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して（出そうとして）いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業（作品制作）中の発言・行動・集中力、作品の質（制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ緻密さ）。  
鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してからはじめる。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、テーマや用途・大きさは違うが、参考に出来る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。2学期では木彫の技法を学び、自分の考えたデザインが彫られたオリジナル時計を制作します。久しぶりに彫刻刀を扱うので安全に十分注意し、生活を豊かにする素敵な作品づくりを楽しめるように取り組みましょう。

月	時配	学習する内容（時数）	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
9 月	3	木彫時計制作（3）	木彫加工を体験する。 時計をかたどった用紙にアイ デアスケッチを描き、カーボン 紙でデザインを時計の木部に 転写する。 デザインが転写された時計の 木部を彫刻刀で木彫をする。木 彫は『浮彫り』『片桐彫り』『葉 研彫り』『菱合い彫り』『かま ぼこ彫り』『石目彫り』の中か ら3種類以上の技法を用いて、 デザインを立体的に表現する。	木材を彫刻刀で加工して作 品を作る木彫加工を体験す る。 木材上に文字や絵を配置し て表現するデザイン力・発 想・造形力。 木材を発想のままに形作る 表現力・忍耐力等木材加工の 美しさ、デザイン力、彫刻刀 で木材を彫り出して作品を 作る造形力。	作品廻加工はどれく らいで終わるのか、間 に合わない場合はど うするのかを考えて おく。
10 月	3	木彫時計制作（3）	木彫の技法の正確さに加え凹 凸の大きさ・深さ・面積や着色 加工についても評価する。	安全に留意して道具が適切 に扱われているか。	出来上がった作品を どう着色したらより 映えるか、保存はど うするのか等を考え、裏 側で実験して準備す る。
11 月	4	木彫時計制作（4）	表現の意図に応じてやすりが けまたはニス塗りをを行い完成。	紙やすりかニスをを用いて装 飾するデザイン・造形力。	制作時間を考え提出 するまでに完成させ る。
12 月	2	鑑賞（2）	鑑賞を通しお互いの良さを認 め合う。	作品に込めた想いを鑑賞・評 価する(自己・他者共に)能力。 木彫の基礎力を身に付け る。 木材加工の方法を身に付 ける。	



# 鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 3学期 美術科 シラバス

## 【学習の目標等】

### 絵馬を描く

・表面に合格祈願や、無病息災、満願成就などの四文字熟語などを入れて絵馬を制作する。裏面の絵の内容は神馬・干支・志望校の校章・お気に入りのキャラなど著作権を侵害しない程度のイラストを入れても良い。正月の初詣に奉納できるように完成させる。様々な表現方法があることを知り、自らの表現に生かし、他者や自分の良いところを発見する。

### 作品の鑑賞

・様々なクラスメイトの作品を鑑賞することで多くの表現方法があることを知り、自らの表現に生かし、他者や自分の良いところを発見する。

## 【評価の観点及び内容】

### 【知識・技能】

- ・与えられた資料や制作に必要な技法、手順、課題を正しく理解し制作に反映させているか。
- ・制作時間を考慮し、時間内に作品を完成させることができるか。
- ・美術的な人物、流派、年代、作品名等を正しく記憶、理解できているか（歴史）

### 【思考・判断・表現】

- ・揭示された制作課題、制作方法手順を理解し作品に反映させることができているか。
- ・他者の作品や身の回りの物が人の心を動かしたり、生活をより豊かにする美術の働きに気づき自らの作品に取り入れたり、自分の言葉で表現できているか。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・出席・授業態度・作品や鑑賞カードの提出作品の完成度、その内容とも制作時間にふさわしいか、制作課題（ねらい）を達成しているか。
- ・作品を正しく評価し美しさ、良さを見だし味わい自分の言葉で表現できたか。

## 【評価の方法】

### 【知識・技能】

課題作品を(より)よく美しく制作しようとするに当たって必要とされる技能・技術水準を満たしているか。よくするために努力しているか。  
鑑賞に当たり静かに集中して自己及び他者の作品のよさや美しさを理解し、的確な言葉・文章で評価・表現しているか。

### 【思考・判断・表現】

課題の用途や目的を理解し自分独自の解釈や発想を加えて、他人と違ったよりすぐれた美しい物を生み出して(出そうとして)いるか。他者や身の回りの美術作品の工夫や意図に気づき、自分の言葉・文章で評価・表現しているか。アイデアスケッチ。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

授業(作品制作)中の発言・行動・集中力、作品の質(制作・仕上げ・下書き等の丁寧さ緻密さ)。  
鑑賞する作品に対する言動・文章の質。反省シート。

美術の評価は作品の完成度だけでなく、日々の授業に取り組む姿勢も評価しています。課題をやらなかったり、提出物が出ていなかったり、出しても内容をしっかりやっていないと、評価に大きく影響します。

## 【学びを高める学習方法アドバイス】

### (1) 学習方法

年間スケジュールが発表されて、どんな物を作るのか分かっているので、事前にインターネットや図書館などで関連する資料や作例等の画像を検索し、作ろうとしている作品のイメージやデザインを明確にして、下書きや作品テーマを決めておく。参考資料としてデータを出力して来ても良い。作品にはクラス・出席番号・氏名を必ず入れること。

### (2) 授業の受け方

授業の初めに本日中にやるべきこと、進めるべき目標、注意点などを短時間で説明するので、それをよく聞いて自分の作品がスケジュール通りに進んでいるのか、制作方法に誤りが無いかを確認してから始める。制作に集中し・休憩時間以外の私語・立ち歩き等をせず黙々と制作すること。年間を通して出席番号順で席の場所を変えないので、勝手に席を替えたり後ろを向いたり集まったりしない。

## 【教科担任からのメッセージ】

美術科も5教科と同じように予習をすると評価が高くなります。予習はどんなものを造るかを決め、テーマや用途・大きさは違うが、参考に出来る過去の作品はあるか、似たような先輩の作品はあるか、違った視点では見られないか等を調べ、検索し、自分のアイデアを膨らまし、どうやって作るか手順や方法を考えるのがポイントです。3学期は五角形の板に干支や神馬、イラストなどが描かれた日本の伝統的な芸術「絵馬」の制作をします。絵馬が持つ歴史や意図について学び、中学校最後にふさわしい作品を制作しましょう。

(様式4)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
1 月	4	合格祈願の絵馬制作(4)	<p>日本の伝統的な民間芸術の一つ、絵馬について学びその制作を体験する。</p> <p>家形に切り取られた板の表に、名前と願い事の文字を墨で描き、軽くレタリング。裏に干支や神馬・イラストなど描き入れて下書きを完成する。</p> <p>下書きの目安に絵と文字を墨で描いて色をつけて完成。</p>	<p>日本の伝統的民間芸術の一つ絵馬についてその歴史や意図を理解しその美について学ぶ。</p> <p>木板に文字と絵を配置・着色して作品を作る異素材絵画を体験し、表現する。デザイン力・発想・造形力</p> <p>絵馬の制作意図を理解し、的確な祈願文を作る表現力・理解力等</p>	<p>レタリング字典などで書体や大きさ線の効果について予習し、作品作りに役立つアイデアをネット検索や先輩の作品などで、どのように表現するかアイデアを練っておく。</p> <p>宗教的に問題のある生徒は奉納をしなくて良い。あくまで日本文化の一端を学ぶ為の体験にとらえ、作品はドアプレートやオーナメントとして飾るだけとする。</p>
2 月	2	<p>合格祈願の絵馬制作(1)</p> <p>合格祈願の絵馬制作の鑑賞(1)</p>	<p>絵馬の鑑賞を通しお互いの良さを認め合う。</p>	<p>作品に込めた想いを鑑賞・評価する(自己・他者共に)能力。</p>	<p>作品の感想と反省点等を考える。</p>